

地球惑星科学委員会IUGS分科会IAH小委員会 (第26期・第1回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和6年7月1日(月) 16:00~17:00

2. 会 場 オンライン会議 (Microsoft Teams 会議)

3. 出席者

杉田 文、谷口 真人、徳永 朋祥、益田 晴恵、柏谷 公希、
榊原 厚一、中川 啓、宮越 昭暢 (出席者は全てオンライン参加)

3. 議事要旨

(1) 役員の決定

谷口委員が委員長に選出された。また、委員長が宮越委員と柏谷委員を幹事に指名し、承認された。

(2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

議事要旨について、幹事が案を作成して各委員への回覧と内容確認を実施後、微修正等を含め、学術会議事務局に提出する最終版の内容の承認については委員長に一任することが承認された。

(3) 小委員会委員間のメールアドレス共有について

メール審議の他、小委員会における情報共有や連絡のために、小委員会内で各委員のメールアドレスを共有することが承認された。

(4) IAH 日本支部の活動について

幹事より、IAH 日本支部の2023年活動報告、2024年活動計画が説明された。委員より、IAH 本部への対応については、IAH 日本支部の事務局を担う地下水学会だけでなく、複数の国内学会で連携して対応することの重要性が指摘された。本小委員会においては、日本地球化学会、水文・水資源学会、日本地下水学会、日本水文科学会等の国内学会の関係者が委員を務めている。本小委員会の役割として、これら国内関連学会の意見を各委員が収集して本小委員会に集約し取りまとめることにより、複数の国内学会の意見を反映してIAH対応を推進することが確認された。

(5) IAH2024年大会について

幹事より、IAH2024年大会(スイス・ダボス)のスケジュールやセッション等が紹介された。また、2025年大会はオーストラリア・メルボルンでの開催が予定されている。国内では2008年にIAH 富山大会を開催しており、次世代への継承に加え、本部や各国

支部との繋がり維持を考慮すると、10～20 年程度のスパンで開催を検討した方がよいとの指摘があった。また、委員長より、国内招致の可能性を探ることが提案され、各委員が関連する国内学会等の意見を収集することとなった。招致にあたっては、関連する国内学会の連帯が不可欠であること、招致予定の他の国際学会の日程を考慮する必要があること、大規模会場は3年前など早期に手配することが望ましいことについて委員より指摘があった。

(6) その他

なし

以上